

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
数学	数学演習 I・A	3	2	文系選択

到達目標	数学 I・A で履修した内容を、演習を通してより確実に理解習得し、将来の進路に向けての十分な数学的な基礎知識をつける。また、数学の見方や考え方のよさを認識し、より幅広い視野で社会生活が送れる能力を身につける。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	第1章 数と式	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな問題を解くにあたっての基本的な計算能力を確実に身につける。 ・その際、もっとも大切なことは、スピードと確実性である。それを身に付けるため、反復練習を十分行う。 ・グラフをイメージすることの重要性を何度も強調し、常にグラフをイメージして問題を考える習慣をつける。そうすれば後は計算力だけであることが理解できる。 	
	第2章 2次関数		
1学期期末	第3章 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> ・公式を自由自在に扱えるよう、基本的問題を何度も反復練習する。その際、必ず図を書く習慣を身につける。 ・表の見方を理解し、代表値など様々な値を求められるようにする。 	
	第4章 データの分析		
2学期中間	第5章 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な数え上げのパターンを基本的な問題の反復練習によって十分理解する。その際、最も重要なことは、場合分けであり、その力を身につける。 ・確率を考える際の基本を理解し、後は反復練習で、自信を付ける。 ・図形を考える面白さは、「ひらめき」によって、一瞬にして問題の本質が明らかになるところにあるが、その「ひらめき」を産むための基礎となる考え方をマスターする。やはり、基本的な問題の反復練習が大切である。 	
	第6章 図形の性質		
2学期期末	第7章 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・不定方程式やn進法など、整数特有の問題の解き方を理解し、反復練習する。 ・今まで勉強してきたことを組み合わせれば、受験問題は、必ず解けることを理解し、自信をもって問題に取り組むことができるようにする。 ・自分の受験する学校等の問題に挑戦することを通し、高校3年間の数学についての理解度を確認する。 ・理解できない分野を発見し、それを補充する。 	
	数学 I・A のまとめ 入試問題演習 ・過去の入試問題の演習 ・センター試験の過去問演習		
学年末	入試問題演習 ・文系希望の生徒の受験する大学・専門学校の過去の入試問題の演習	<ul style="list-style-type: none"> ・上記と同様であるが、自信をもって問題に取り組むことができるようにする。 	

評価方法と評価のポイント	評価は「関心・意欲・態度・努力」「数学的な見方考え方」「表現力」「知識・理解度」の4つの観点に基づいて、平素の学習意欲・態度、出席状況、ノート点検、定期考査等によって行う。定期考査は年に4回実施する。
---------------------	--

教科からのアドバイス

間違えた問題等は何度もやり直し、1度出会った問題は、2回目以降は必ず解けるようにすることがポイントです。